

フードバンクと物流事業者の連携による取り組み事例紹介

青果物当日仕分け当日配送の スピーディーな連携取組の実現

一般社団法人フードバンクママトコ 代表理事 山下海南子



フードバンクママトコとは



◆ 法人名 **一般社団法人フードバンクママトコ**

◆ 設立 2021年6月8日

◆ 理念 フードバンク活動を通じて、熊本県における食品ロスを削減し、定期的な食事が保証されていない子どもたちやその保護者、および経済的困窮者に、食品を届けることによって、共に支えあう社会づくりに貢献する。

県内の子ども食堂様、ひとり親家庭支援団体様、生活困窮者支援団体様等、約80団体様へと食品をお届けしています。 ※対象はボランティア/支援団体のみ



フードバンクママトコとは



◆物流会社 **株式会社共同** が母体のフードバンク団体

経営理念 共生社会づくりに貢献し社員の物心両面の幸せをめざす

■ 輸配送サービス



■ 物流センターサービス



■ 食肉加工サービス



■ レストラン/ショップ/体験教室



フードバンクママトコとは



◆ 設立の経緯

2020年 コロナ禍の中で、熊本県内の子どもたちの貧困の現状を知る

県内の貧困率は15%：約38,000人の子供が貧困状況に置かれている

困窮者支援団体(子ども食堂、フードバンク等)にとっての課題

食品の適正温度帯での管理
輸送手段の確保

母体である(株)共同の物流設備・ノウハウを活用することで、
支援団体が行う活動の物流インフラ問題を解決する

フードバンクママトコとは



配送

保管



常温、冷蔵、冷凍の3温度帯対応
4t~10tトラックで大量配送可能

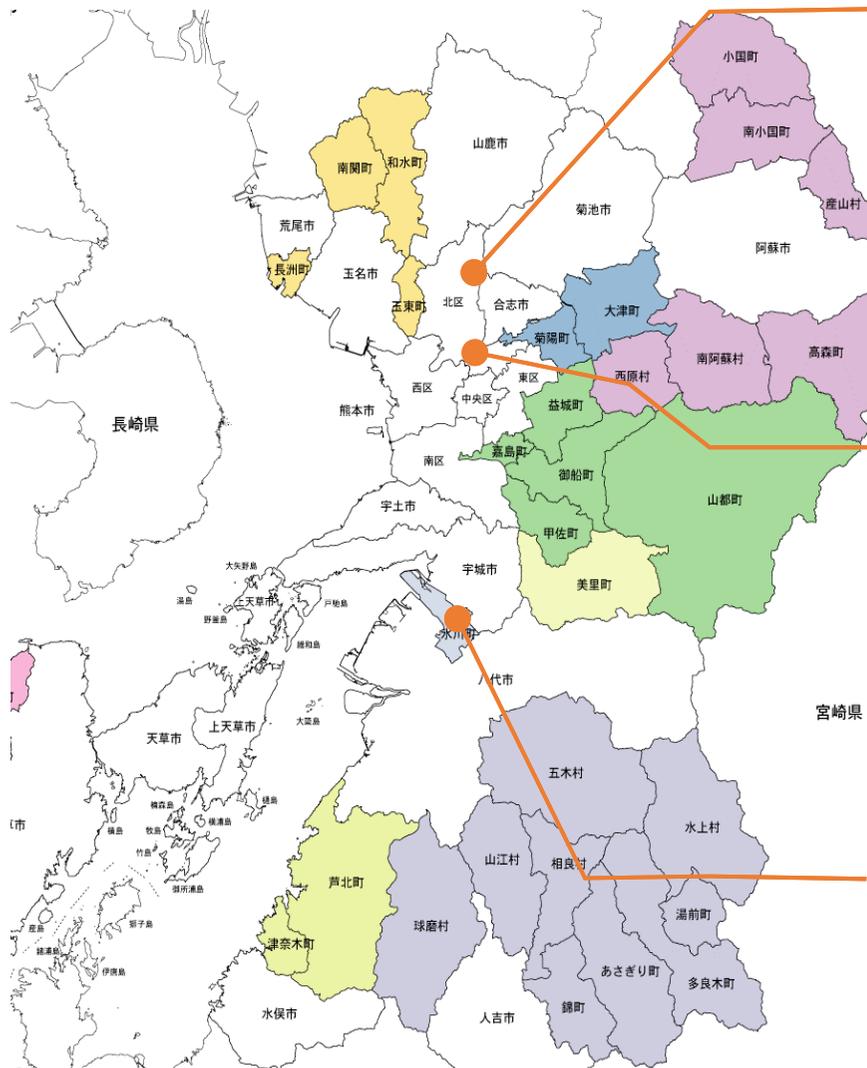
物流会社の
設備とノウハウ



県内3か所の物流センターにて
保管可能。3温度帯対応。

フードバンク団体の課題である、「**配送機能**」と「**保管機能**」の両方を有し、物流会社の設備とノウハウを活用して、より多くの食材を、より多くの必要としている方へとお届けします。

フードバンクママトコとは



菊池事業所（菊池市七城町）



本社・第一物流センター（合志市）



松橋物流センター（宇城市松橋町） 国道3号線沿い



フードバンクママトコとは



◆ ミッション

1. フードバンクママトコの設立母体である株式会社共同が物流事業で築いてきた資産を生かして、支援を必要とする熊本県内の団体が効率よく食品・食事提供の機会を拡大するためのインフラを提供する。
2. 食品を安定的に確保するために食品寄付者との幅広い支援ネットワーク作りを積極的に行う。

◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆

共に生きる

事例紹介

冷凍 1つ1kg



① 自社工場にてミートパテの製造

- ・ 自社工場ミートセンター内で、製品製造時に出る「端材」を利用。
- ・ 自社製造の強みを活かし、昨年5月に**300kg**、9月に**600kg**の大量製造を実施。
- ・ ハンバーグ、餃子、ミートボール、チヂミなど、幅広い料理にご活用いただきました。

軽トラいっぱいにお引渡し



ミートパテを活用した料理教室を実施！
@ママトコキッチン



事例紹介



② 熊本水道局様より、ミネラルウォーター 1.2万本の寄付

- ・ 2021年7月に、熊本水道局様より「熊本水物語」 **12,360本**を寄付いただきました。
- ・ 重量にして約**6トン**。515ケースの大量の水を人の手でパレットに積み込み、10パレット分を自社トラックで集荷、センターにて保管、お引渡ししました。



水道局の方にもお手伝いいただき、パレットに積み込み

軽トラや車いっぱいにお引き取りいただきました。お水の需要の高さがうかがえます。



③ 企業様よりフードドライブ品の定期的な寄付

- ・ マルキョウ合志店様、ロアツソ熊本様、ゆめマート様にてそれぞれ定期的に実施されている“フードドライブ”にて集まった食品を寄付していただいております。
- ・ お持ち込みいただくほかに、自社便を活用し、店舗様へトラックで引き取りにも伺います。



③ 企業様よりフードドライブ品の定期的な寄付

	マルキョウ合志店様	ロアッソ熊本様	ゆめマート様
実施場所	マルキョウ合志店様	ロアッソ熊本様 ホームグラウンド	県内8店舗 (今後拡大予定)
頻度	月1回1週間	試合時	月1回1週間
様子			



事例紹介

3社連携の青果出荷取り組みについて

藤本物産様

ヤマト運輸熊本支店様

フードバンクママトコ

田崎青果出荷の取り組みについて



- ◆ 開始時期 2021年11月
- ◆ 概要 藤本物産様よりいただいた青果物を、田崎市場にて仕分けを行い、当日中に熊本県内全域の支援団体様へお届けする取り組み
- ◆ 頻度 2022年11月現在 毎週月火木金土曜日の週5日
(開始当初は毎週木・土+隔週月曜日の週2~3日)

寄付

藤本物産様

仕分け、受注

FBママトコ

配送

ヤマト運輸
熊本支店様

田崎青果出荷の取り組みについて



藤本物産様

もったいない青果物の提供

例)規格外品、キズあり品など

美味しさに問題なし！

朝7:00

新鮮な青果物の提供



FBママトコ

- ・青果物の仕分け作業
- ・システムを通じた受注の仕組みづくり
- ・全体のとりまとめ、管理等

朝 ~9:00

仕分け、受注作業
発送準備



ヤマト運輸 熊本支店様

- ・子ども食堂/団体様
へのお届け(個人宅宛)

県内全域当日お届け！

当日 ~16:00頃まで

配達完了



田崎青果出荷の取り組みについて



◆ 取組開始の経緯

- ▶ 藤本物産様より、青果物の寄付のお話をいただく



→ 【課題】

- ・ 生鮮食品であること
- ・ 当日出荷当日引取りが必要であること

運用方法検討に難航

- ▶ ヤマト様より、フードバンク活動への協力申し出をいただく

→ 田崎青果出荷取り組みの連携ご提案

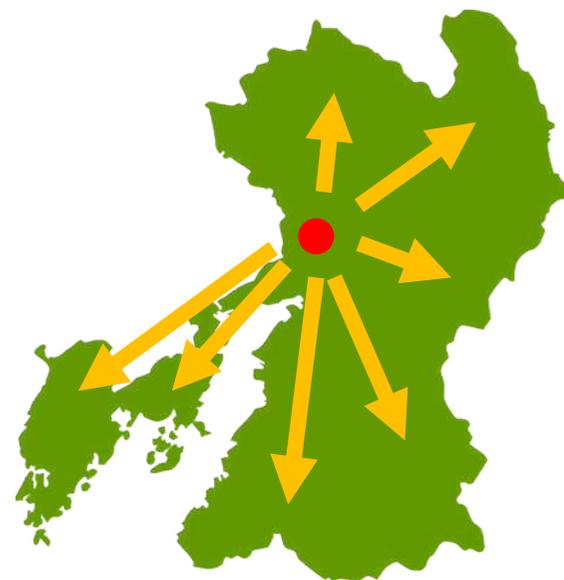
- ・ 高い品質管理、宅配ノウハウ
- ・ 個人宅への当日配送が可能

3社連携で青果の当日出荷当日配送プロジェクトが始動

田崎青果出荷の取り組みについて



当日朝出荷の青果物を、当日夕方までに熊本県内全域に
配達完了させるヤマト運輸様の配送の仕組みとは？



田崎青果出荷の取り組みについて



◆ 実績

- ▶ 青果お届け先：40団体様以上 (センター引取分も含む)
 - ▶ 青果お届け数量：300箱以上
- ※一箱はバナナ箱の大きさで、青果が約10kgほど入っています。

季節によって届く青果物の種類も異なります。
箱いっぱいの青果物を新鮮なうちにお届け。



田崎青果出荷の取り組みについて



◆ 今後の展望

① 寄付先増加

田崎市場内の他企業様への拡大を目指します。

② 取扱品目数増加

青果物だけでなく、冷凍の魚介類や加工品類への品目拡大を目指します。

それに伴う、多温度帯配送対応にも取り組みます。

まとめ



株式会社共同が50年間培ってきた物流のノウハウを活かし、
熊本県のフードロス削減と困窮者支援に取り組み、
ともに支えあう社会づくりに貢献します！

